【北海道のがんの概要】

1. 北海道がん登録 2019 年報告書に関して

精度と届出

2016 年症例より「全国がん登録」へ移行され、2016 年以降に「がん」と診断された症例については、病院等に届出義務が課せられた結果、届出件数について 2016 年症例は 2015 年症例と比較し約 1 万件程度増加したものの、2017 年症例及び 2018 年症例は 2016 年症例件数を下回る届出件数となっていた。

2019 年症例については 2016 年症例とほぼ同じ届出件数となり前年より届出件数が増加しているが、単年での評価はできないものと考えており、引き続き届出件数の推移変化を含め分析・評価していく必要がある。

「がん登録」の特性として、遅れた情報が追加されたり、亡くなった患者の情報が遡り調査にて保管されるなどして古い年のデータが蓄積されていく。

報告書作成時の確定されたデータを「全国がん登録データベース」より抽出し作成しているが、上記の通り、古いデータが日々蓄積及び更新されていくため、後にデータを利用する際に、今回の報告書と件数に違いがみられることも考えられ、こうした現象を認識しておく必要がある。

2019 年報告書の特徴

今回は『全国がん登録』へ移行し 4 年目の報告書作成となる。

引き続き、今後報告されるデータと比較すること、また蓄積されていくデータと比較することにより、北海道のがん状況がより明確になると考えられる。

そのためにはより精度の高い情報をデータベース化し、継続した評価が必要であり、この報告書も状況に応じて報告形式を見直していく予定としている。

2019 年報告書では、新たに「初回治療における病院等種別内訳」「二次医療圏別発見経緯」「二次医療圏別発見時進展度」を報告している。

「初回治療における病院等種別内訳」では、病院等種別ごとの初回治療内訳が確認できる。

「二次医療圏別発見経緯」「二次医療圏別発見時進展度」では、発見経緯や発見時進展度を全部位別・主要部位別に分け、二次医療圏別に比較しやすいようにグラフ化している。

また北海道は他都府県より二次医療圏が多いため、独自に「医療圏部位別年齢調整罹患率・死亡率」の北海道地図を視覚的に見やすいように作成している。2017 年報告書より前年の件数を積み上げた地図とも視覚的に比較できるように報告しており、単年の増加・減少なのかをある程度比較できるものと考えられ、引き続き報告していく。

※「初回治療における病院等種別内訳」は p27 ページに掲載
※「二次医療圏別発見経緯」「二次医療圏別発見時進展度」は p52 ページに掲載

2. 北海道のがん登録の概要

集計期間

罹患年月日が平成 31(令和元年)(2019 年)年 1 月 1 日から 12 月 31 日までの1年間

集計の対象

国際的に統一された新生物のための分類である国際疾病分類腫瘍学第3版(3. 1版)(厚生労働大臣官房統計情報部)において悪性(性状コード 3)または上皮内(性状コード 2)に分類された腫瘍とその他の政令で定められる疾病
(p12 参照)

2019 年集計のがん登録の精度（上皮内がんを除く）

- ▸DCI(死亡診断書を契機に登録された症例の割合): 3.6%
- ▸DCO(死亡診断書のみの症例の割合):1.8%
- ▸MI比(死亡罹患比):0.4
- ▸MV(顕微鏡学的に確かめられた症状の割合)86.1%

2013 年症例からは標準データベースシステムから全国がん登録データベースシステム(国立がん研究センター提供)に移行して登録作業を行っている。

それにより、2012 年以前の症例との同一患者の照合不可、罹患日の定義変更などが生じており、2013 年以降と 2012 年以前との罹患数や精度指標などの比較はできない。

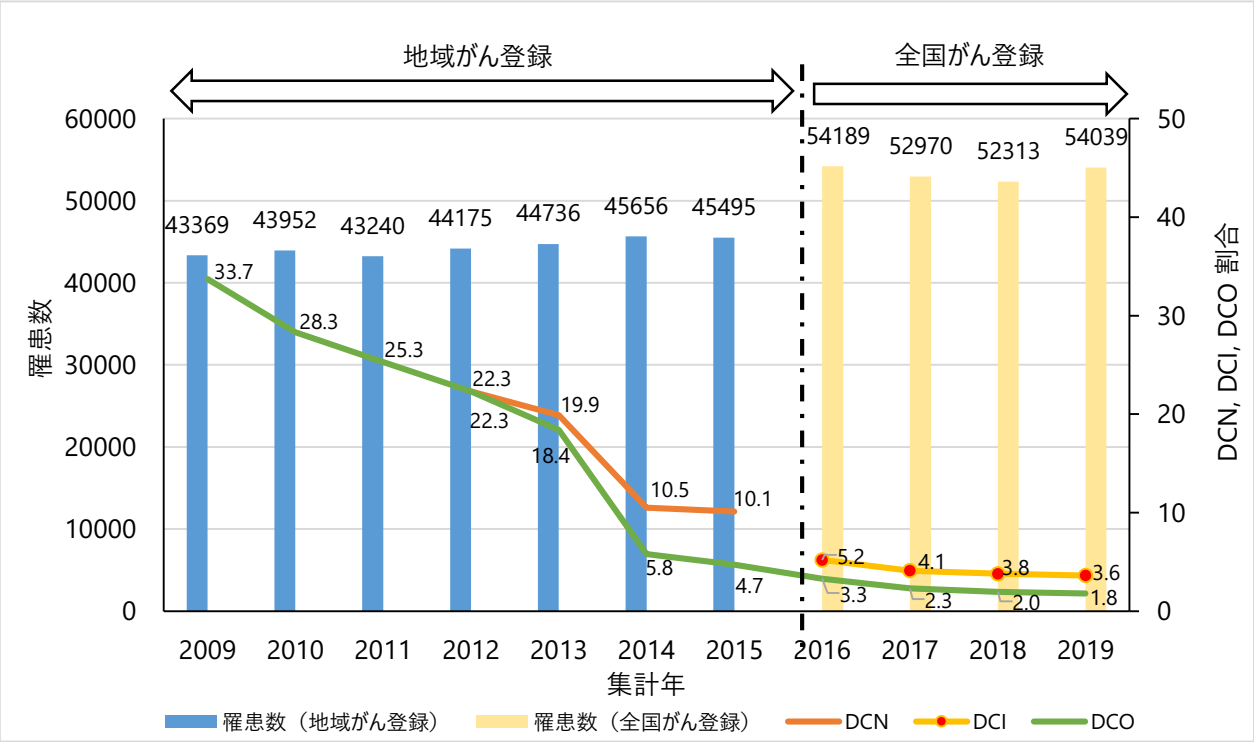


図 5 罹患数および精度指標の推移

1）罹患数は上皮内がんを含む 2）精度指標は上皮内がんを除く

【部位別登録精度】

集計には「標準集計表 8-A」を用いた

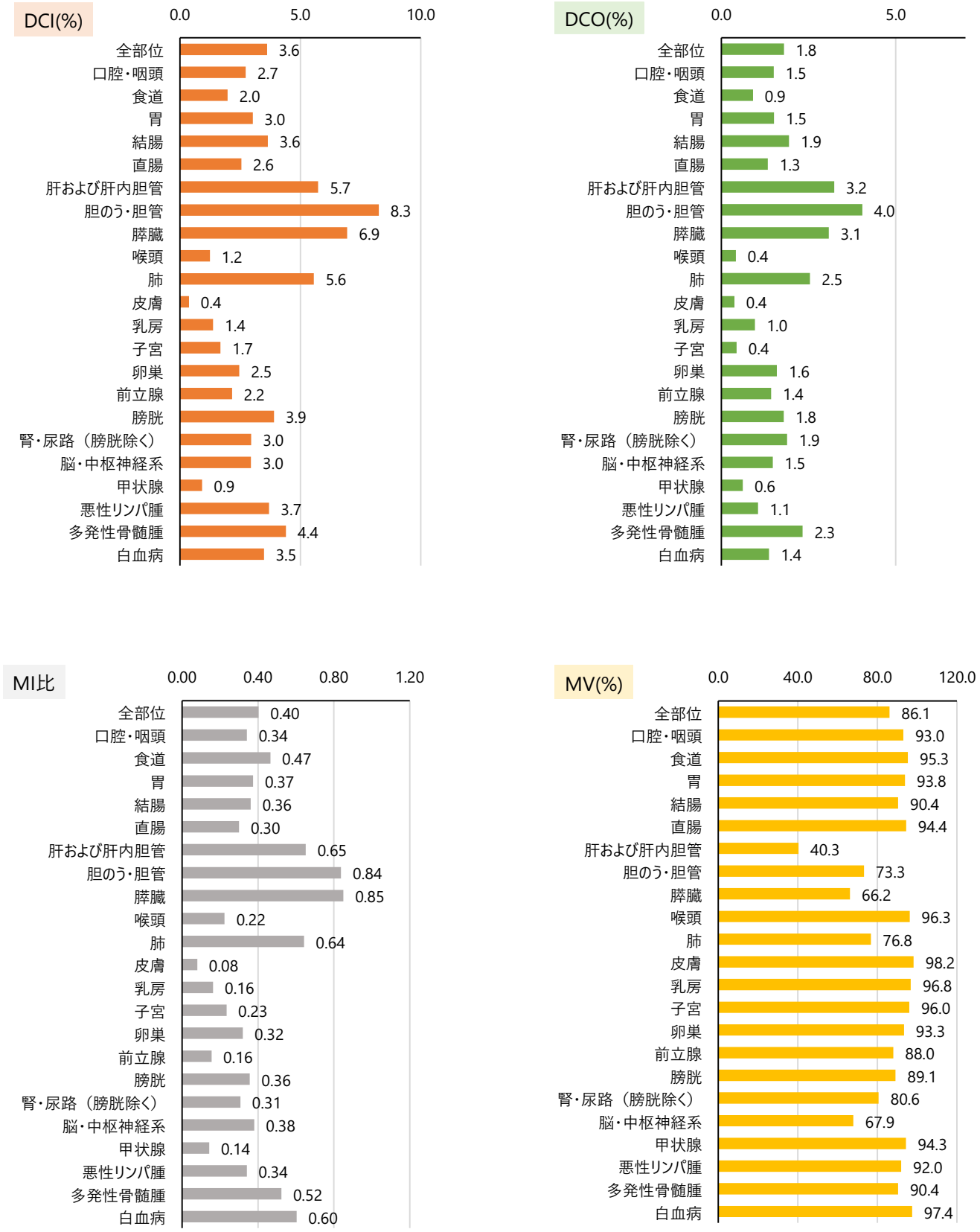


図 6　部位別登録精度：DCI・DCO・MI 比・MV

3. 北海道のがんの罹患の概要

集計には「標準集計表 1-A、2-A、3-2-A」を用いた

【部位別罹患数・割合】

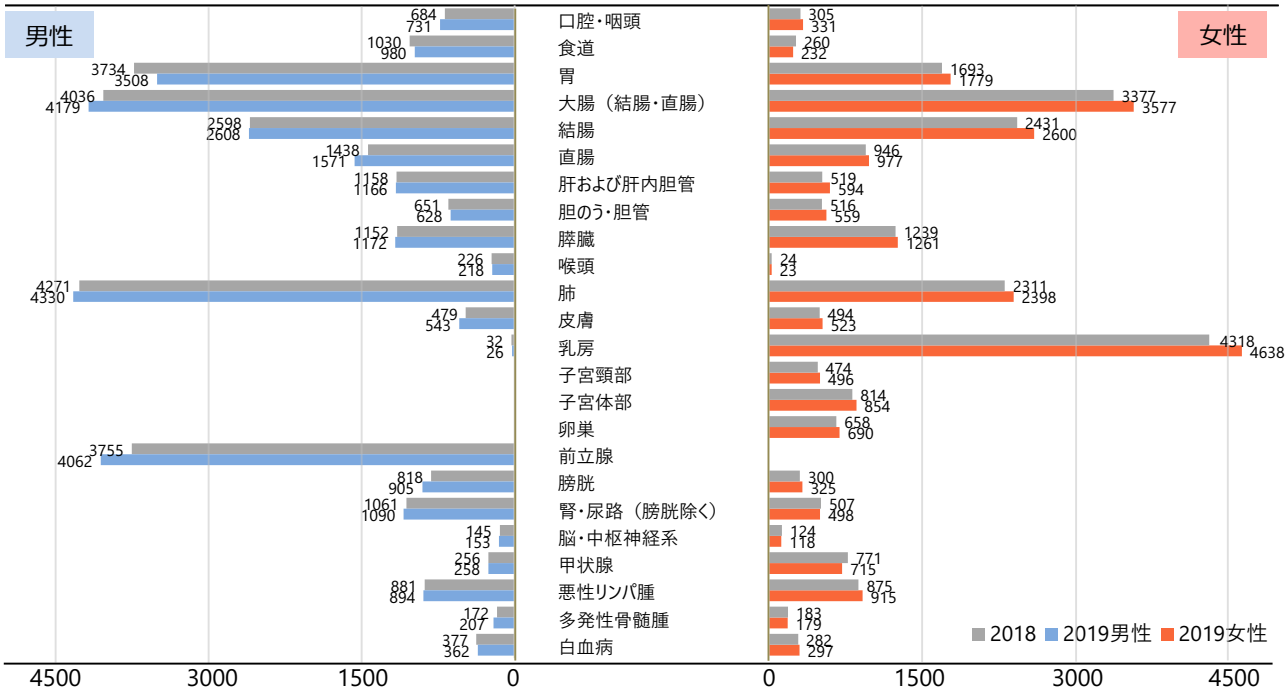


図 7 部位別罹患数：男女別、上皮内がんを除く

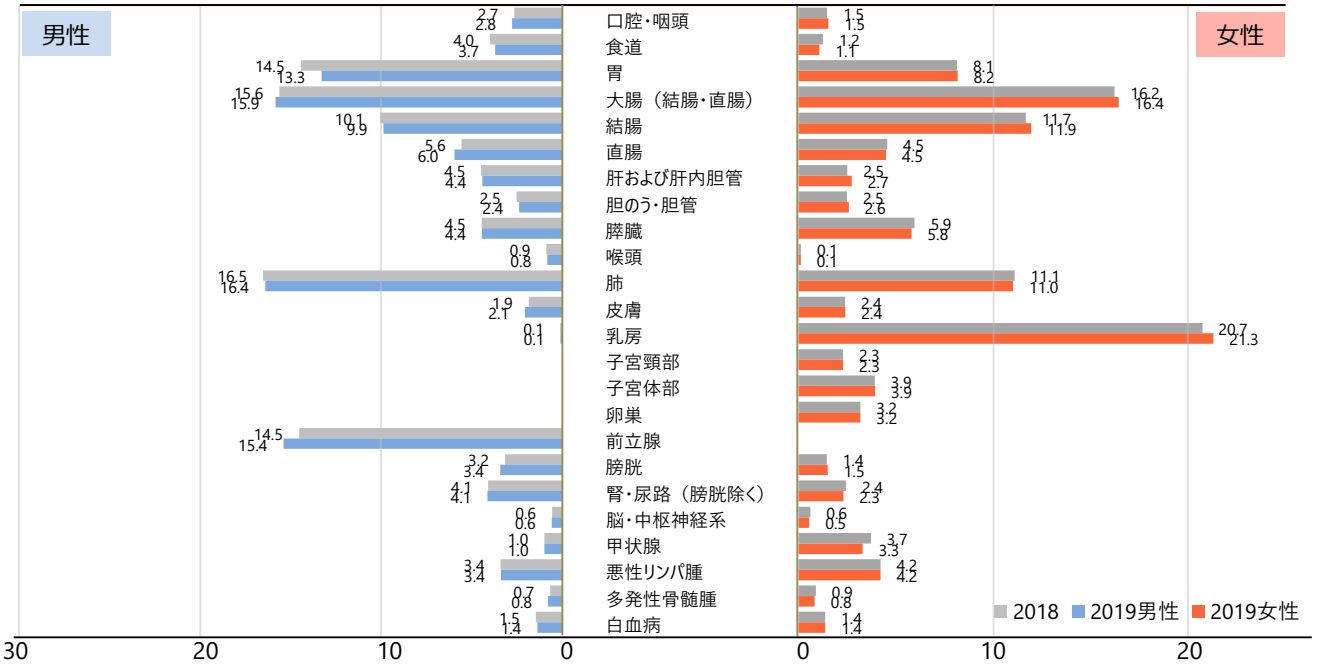


図 8 部位別罹患割合（%）：男女別、上皮内がんを除く

男性では肺がん（16.4%）の罹患数が最も多く、次いで大腸がん（15.9%）、前立腺がん（15.4%）の罹患数が多かった。
女性では乳がん（21.3%）の罹患数が最も多く、次いで大腸がん（16.4%）、肺がん（11.0%）の罹患数が多かった。

【年齢別に見たがんの罹患】

表 5　年齢階級別がん罹患数：男女別、上皮内がんを除く

年齢階級	14歳以下	15-39歳	40-64歳	65-74歳	75歳以上	総数
男性	43	254	4,685	9,090	12,281	26,353
女性	40	607	5,710	5,622	9,797	21,776

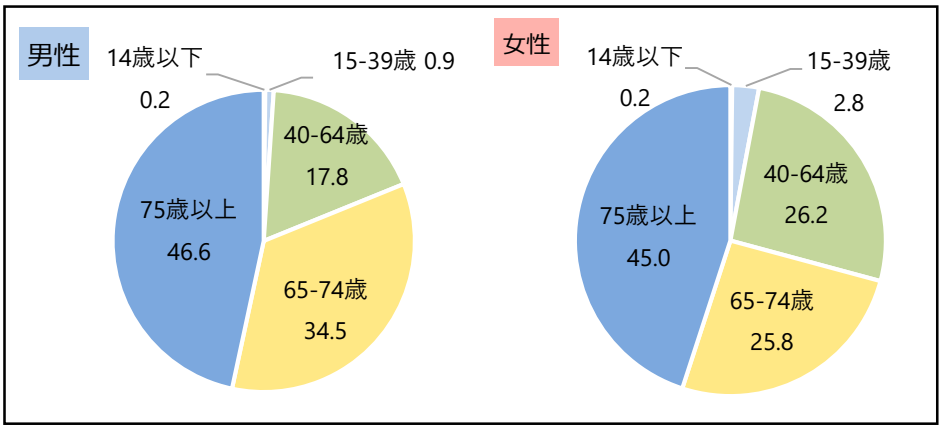


図 9　年齢階級別罹患割合（%）：男女別、上皮内がんを除く

罹患数は男性の方が多く、男性・女性ともに 75 歳以上の割合（男性 46.6%、女性 45.0%）が最も多かった。女性では 64 歳以下（14 歳以下（0.2%）、15-39 歳（2.8%）、40-64 歳（26.2%））の割合が約 3 割となる。

表 6 年齢階級別罹患順位：男女別、上皮内がんを除く

性別		14歳以下	15-39歳	40-64歳	65-74歳	75歳以上
男性	第1位	白血病	白血病	肺	肺	肺
	第2位	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫	胃	前立腺	前立腺
	第3位	脳・中枢神経系	直腸	前立腺	胃	胃
女性	第1位	白血病	乳房	乳房	乳房	結腸
	第2位	悪性リンパ腫	甲状腺	子宮体部	肺	肺
	第3位	脳・中枢神経系 口腔・咽頭	子宮頸部	結腸	結腸	乳房

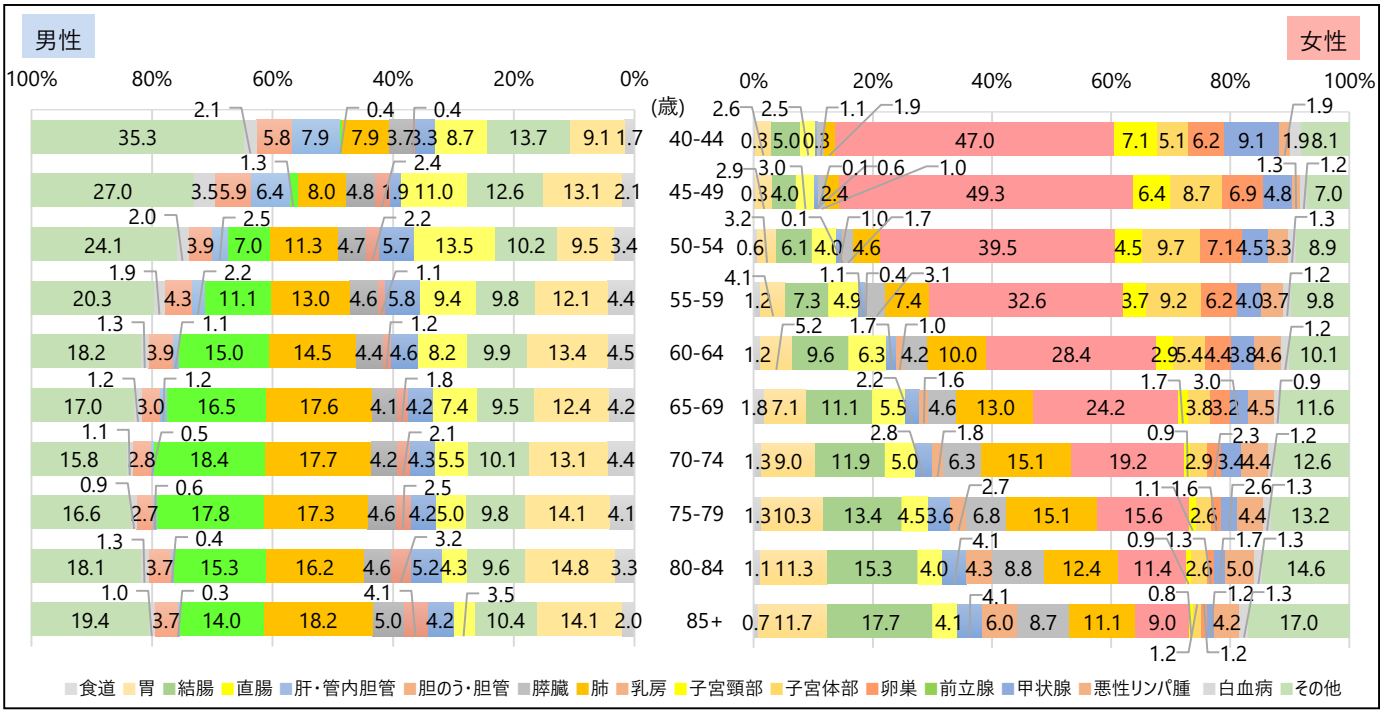


図 10　年齢階級別罹患率：男女別、上皮内がんを除く

【部位別年齢階級別罹患率】

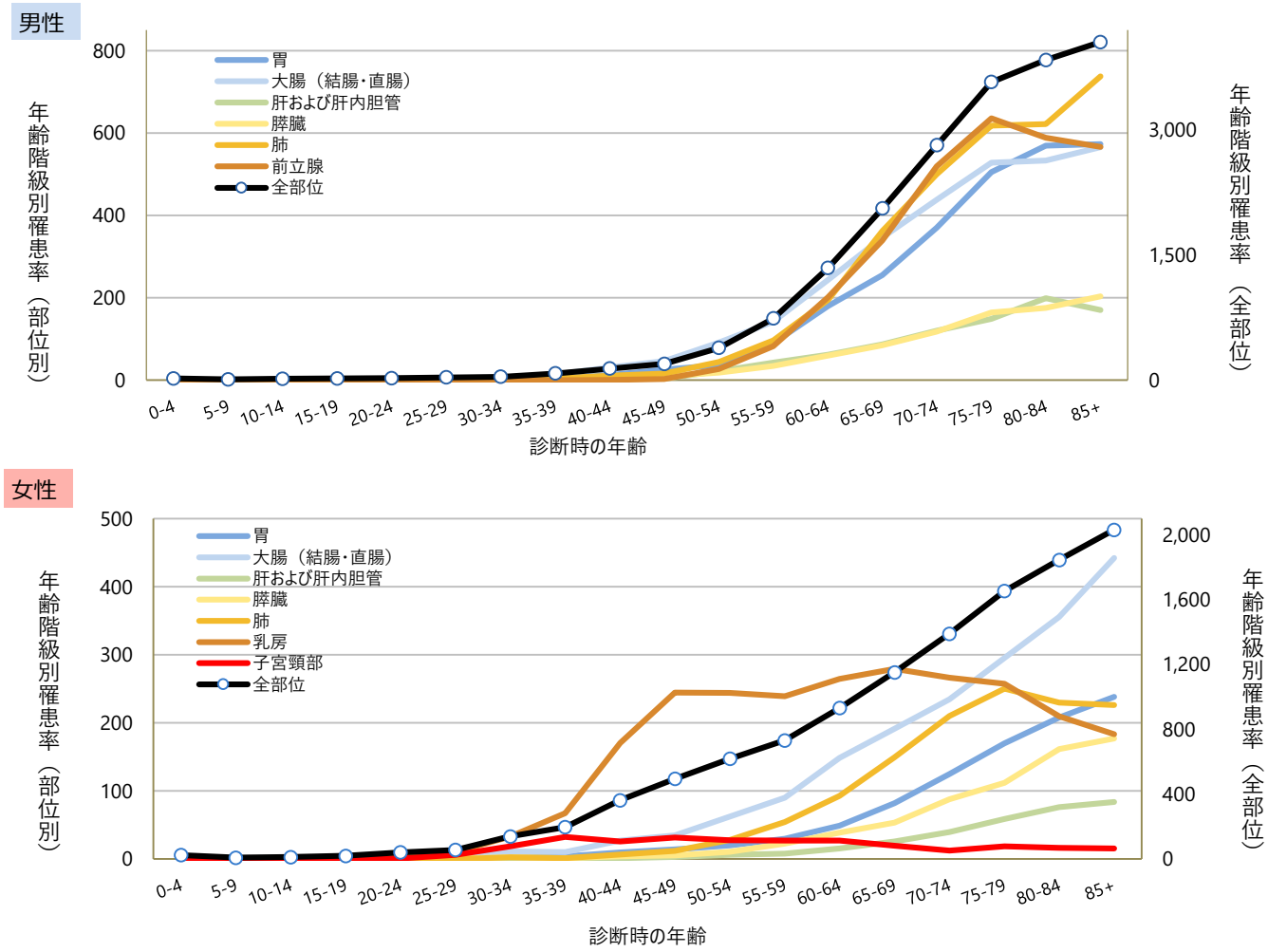
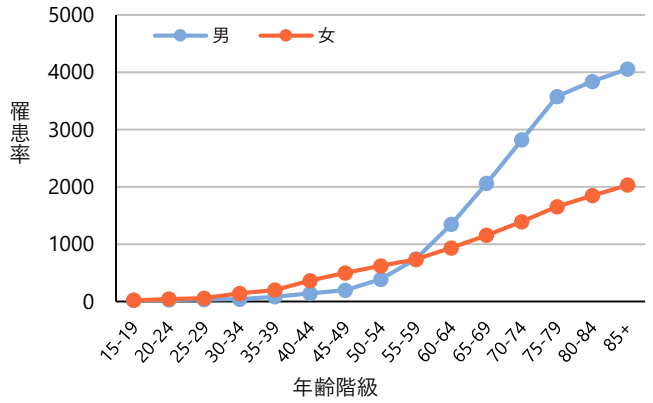


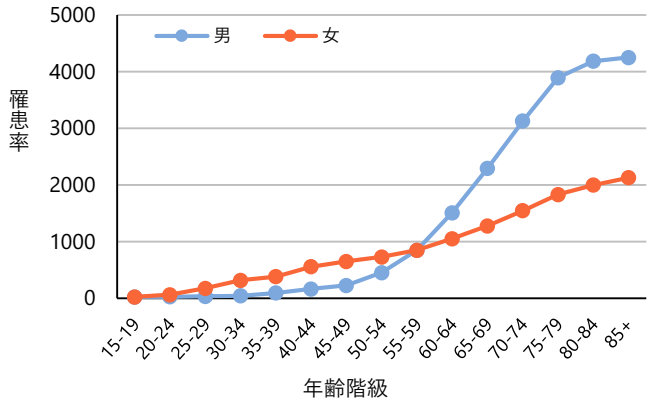
図 11　年齢階級別罹患率（人口１０万対）：男女別、上皮内がんを除く

男性の罹患率は、年齢とともに肺がんが高くなり、65歳以上から大腸がんや前立腺がんが高い傾向であった。女性の罹患率は、若年層から乳がんが高い傾向であり、75 歳以上から大腸がんや肺がんが高くなっている。

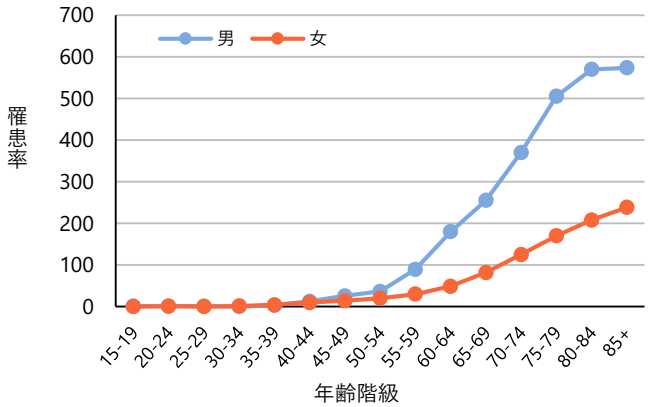
全部位（上皮内がんを除く）



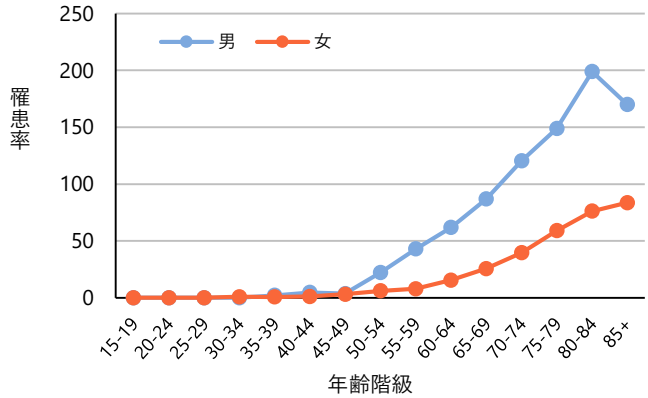
全部位（上皮内がんを含む）



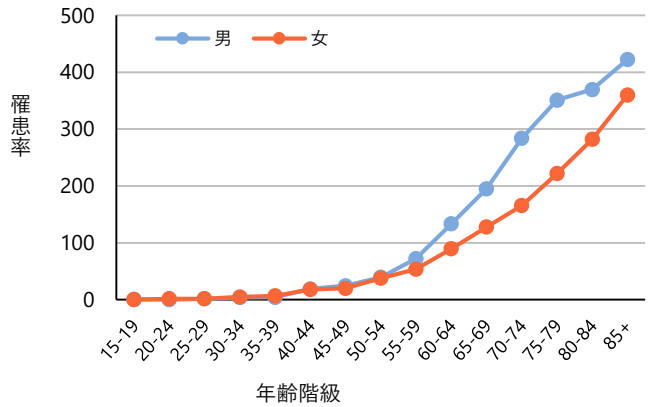
胃（上皮内がんを除く）



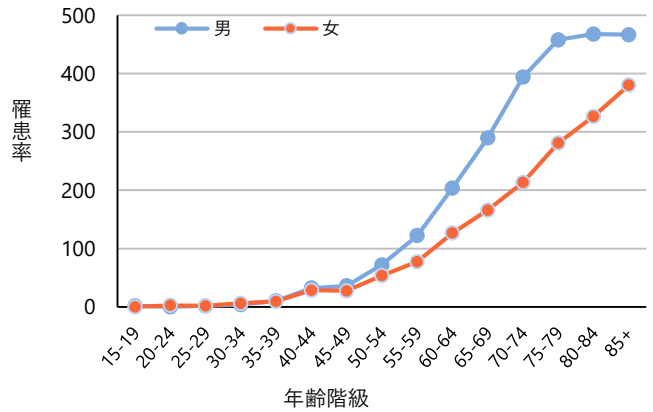
肝および肝内胆管全部位（上皮内がんを除く）



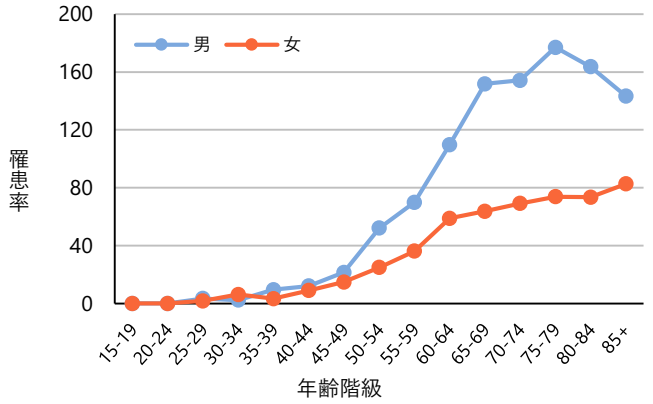
結腸（上皮内がんを除く）



結腸（上皮内がんを含む）



直腸（上皮内がんを除く）



直腸（上皮内がんを含む）

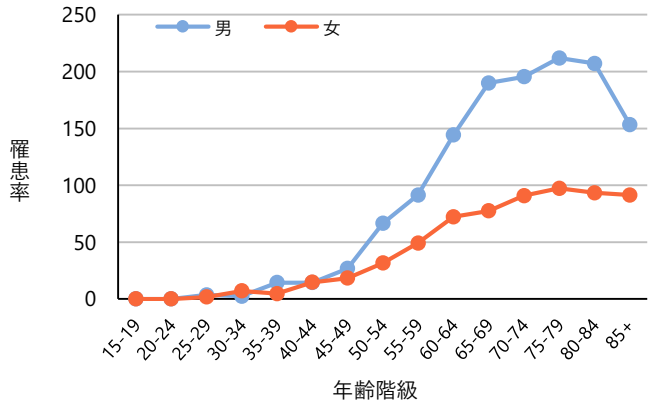


図 12　年齢階級別罹患率（人口１０万対）

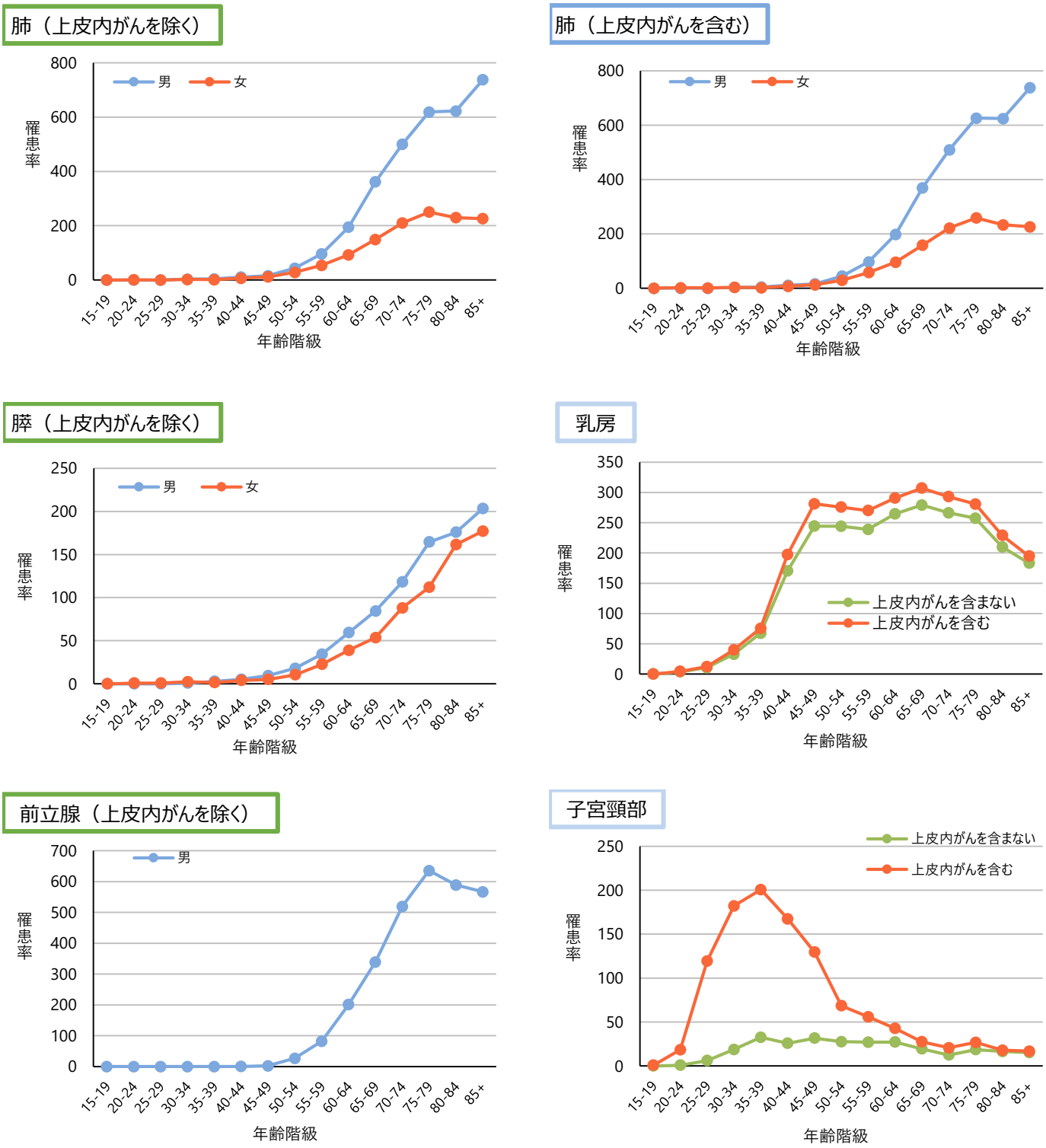


図 12　年齢階級別罹患率（人口１０万対）

4. 北海道のがん罹患の特徴

集計には、

北海道値：「標準集計表 1-A、4-AB、5-AB、6-AB」、「匿名化された北海道がん情報」

全国値：厚生労働省健康局がん・疾病対策課「平成 31 年（令和元年）全国がん登録　罹患数・率　報告」

を用いた

【部位別年齢調整罹患率（人口 10 万対）】

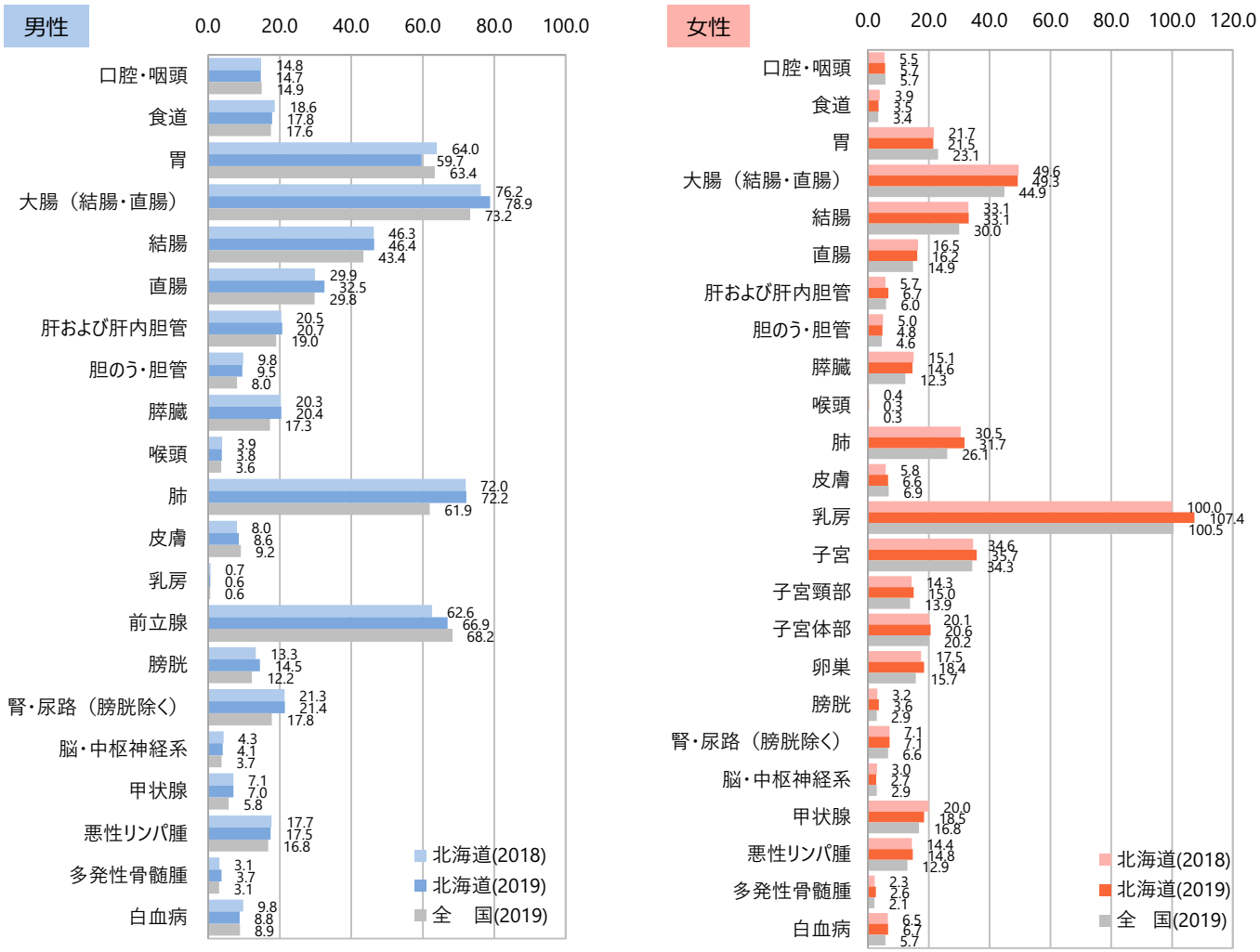


図 13　部位別年齢調整罹患率（人口１０万対）：部位別、男女別、上皮内がんを除く

全国の数値と比べ、男性では肺がんの罹患率がかなり高く、女性でも全国と比較し肺がんの罹患率が高い傾向であった。さらに、男性・女性ともに大腸がん、膵がんの罹患率が全国よりも高くなっている。

【部位別発見経緯】

1）ＤＣＯを除く　2）＊は上皮内がんを含む　3）胃の限局には粘膜内がんを含む　4）結腸・直腸の上皮内がんは粘膜と同義
5）子宮頸部の上皮内がんは CINIII を含む（ただし高度異形成と明示されているものは含まない）

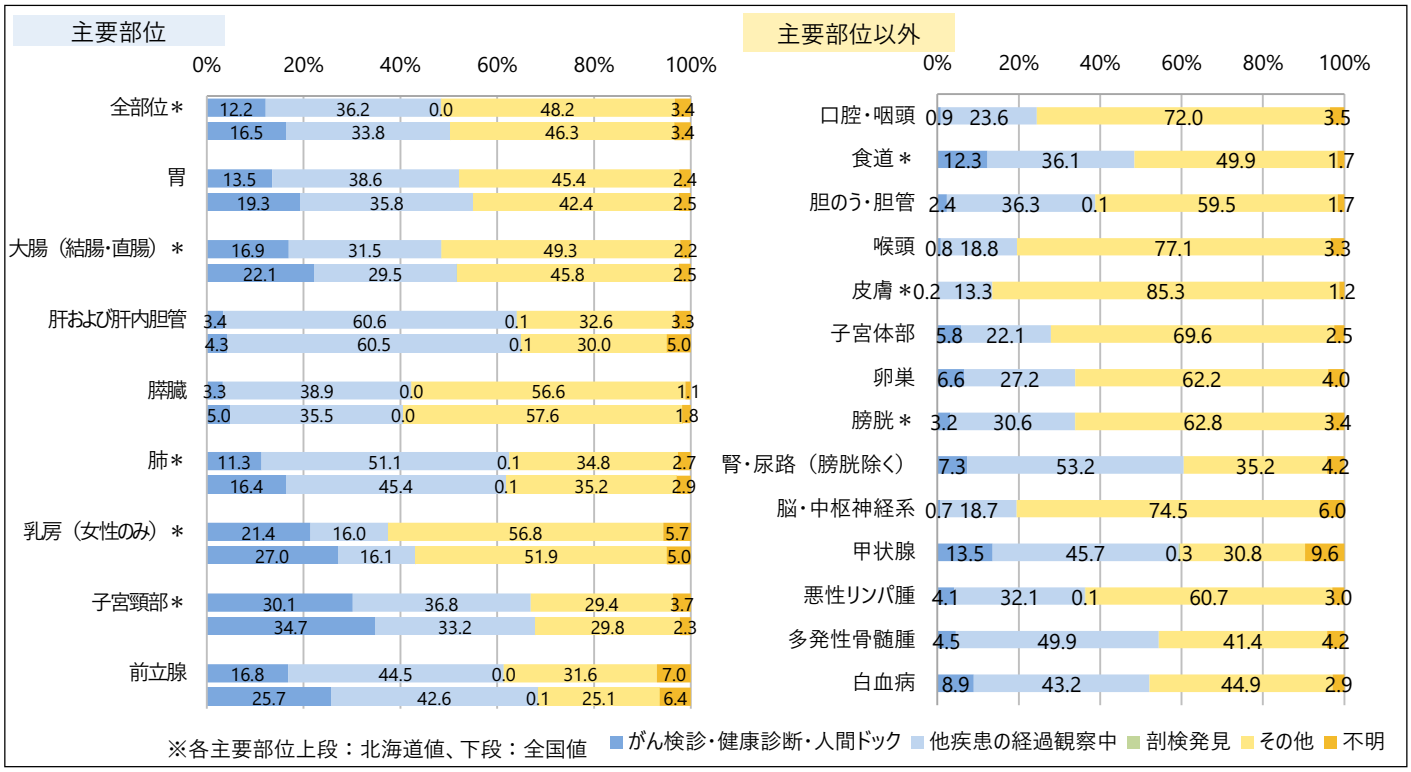


図 14　部位別発見経緯（%）

【発見時の進展度】

1）ＤＣＯを除く　2）＊は上皮内がんを含む

部位別発見時の進展度割合

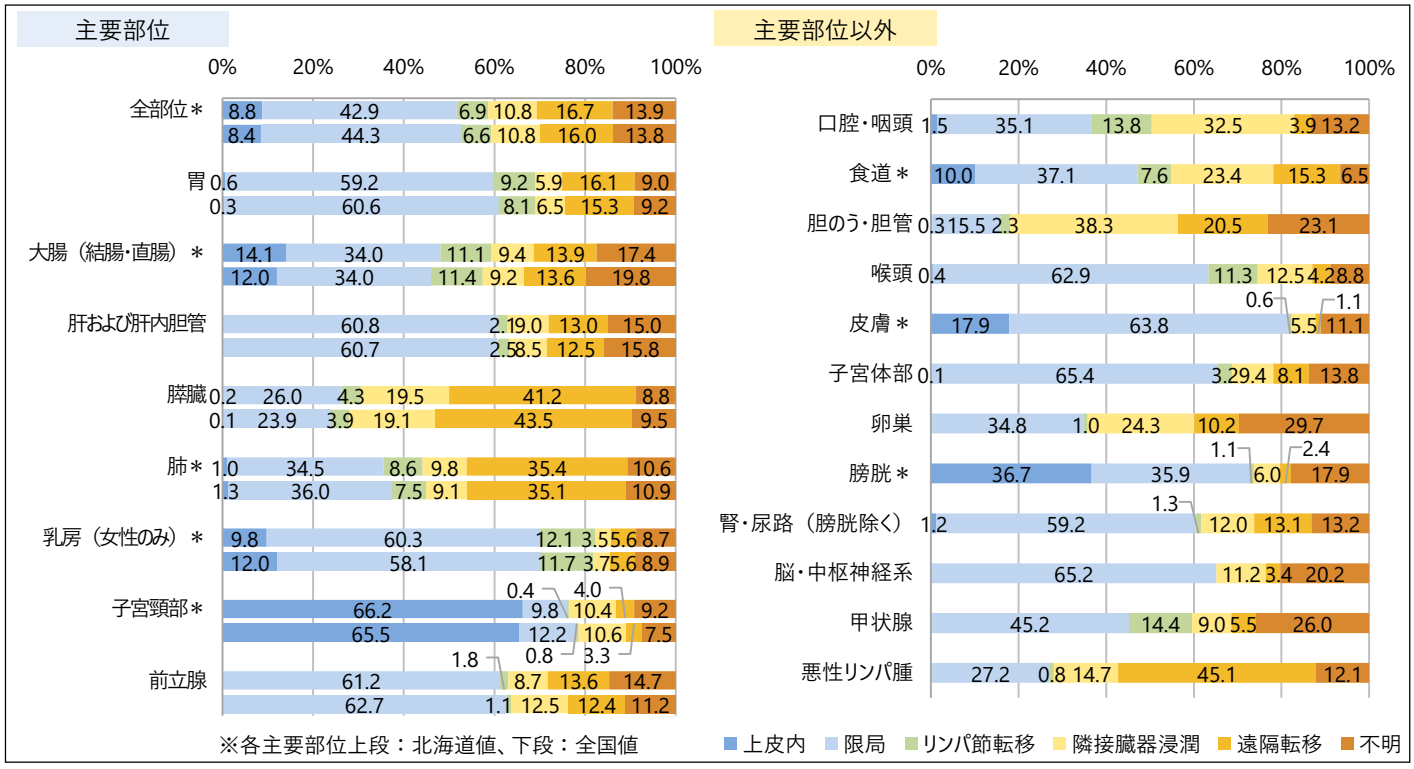


図 15　部位別進展度・治療前（%）

発見経緯別発見時の進展度割合

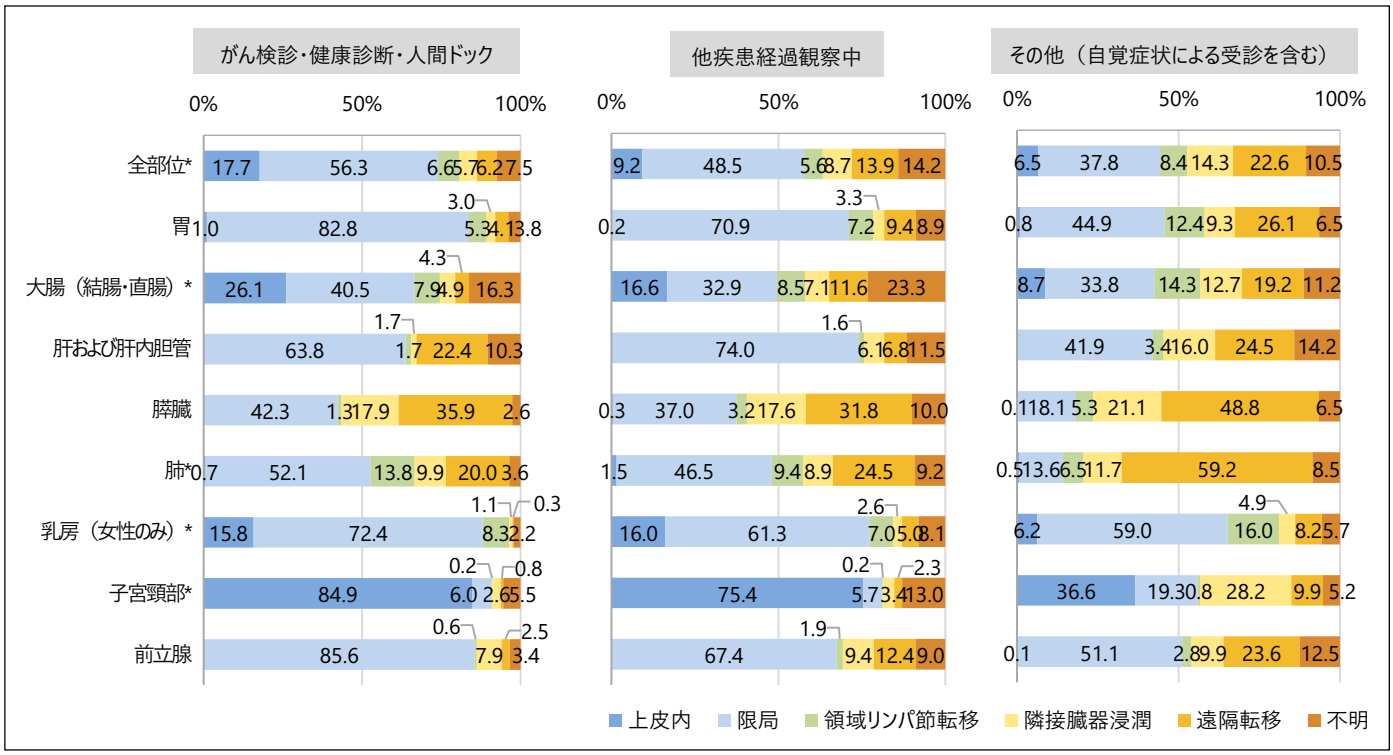


図 16　発見経緯別発見時の進展度割合（%）

【初回治療の方法】

1）ＤＣＯを除く　2）＊は上皮内がんを含む　3）複数の治療法を同時に採用することが多いため計は 100%にはならない
4）観血的治療には、外科的、鏡視下、内視鏡的手術を含む　5）薬物療法には、化学療法、免疫療法、内分泌療法を含む

部位別初回治療内容

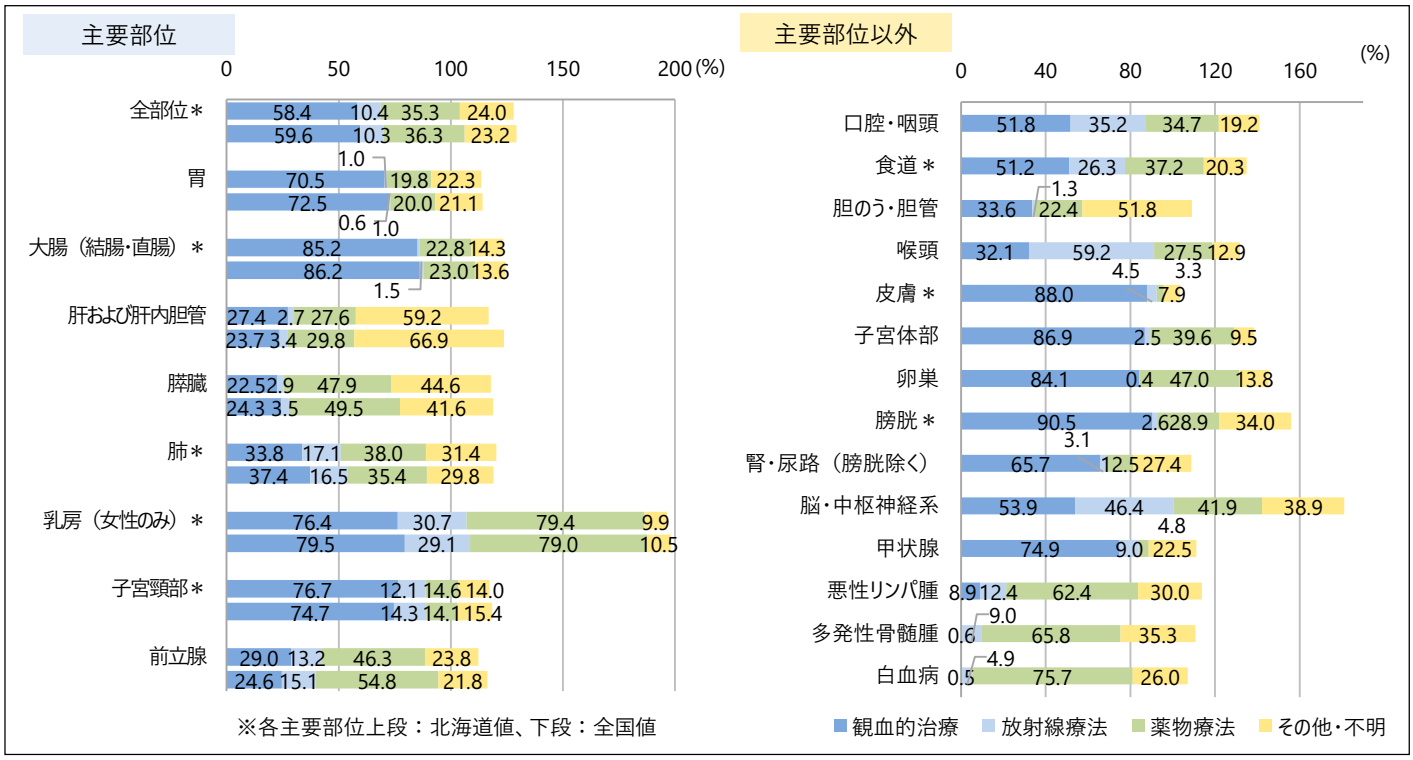


図 17　部位別初回治療内容（%）

初回治療における観血的治療内訳

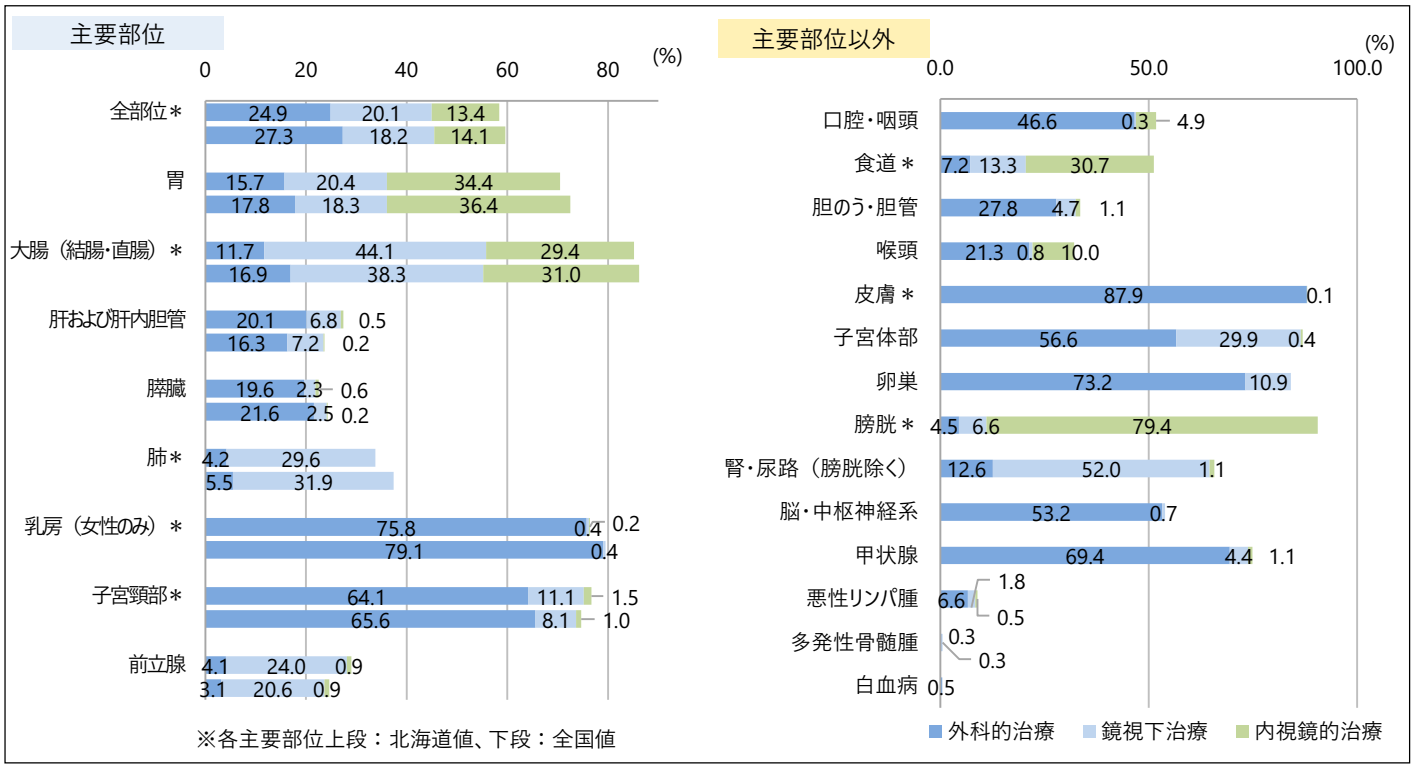


図 18　部位別初回治療における観血的治療内訳（%）

初回治療における薬物療法内訳

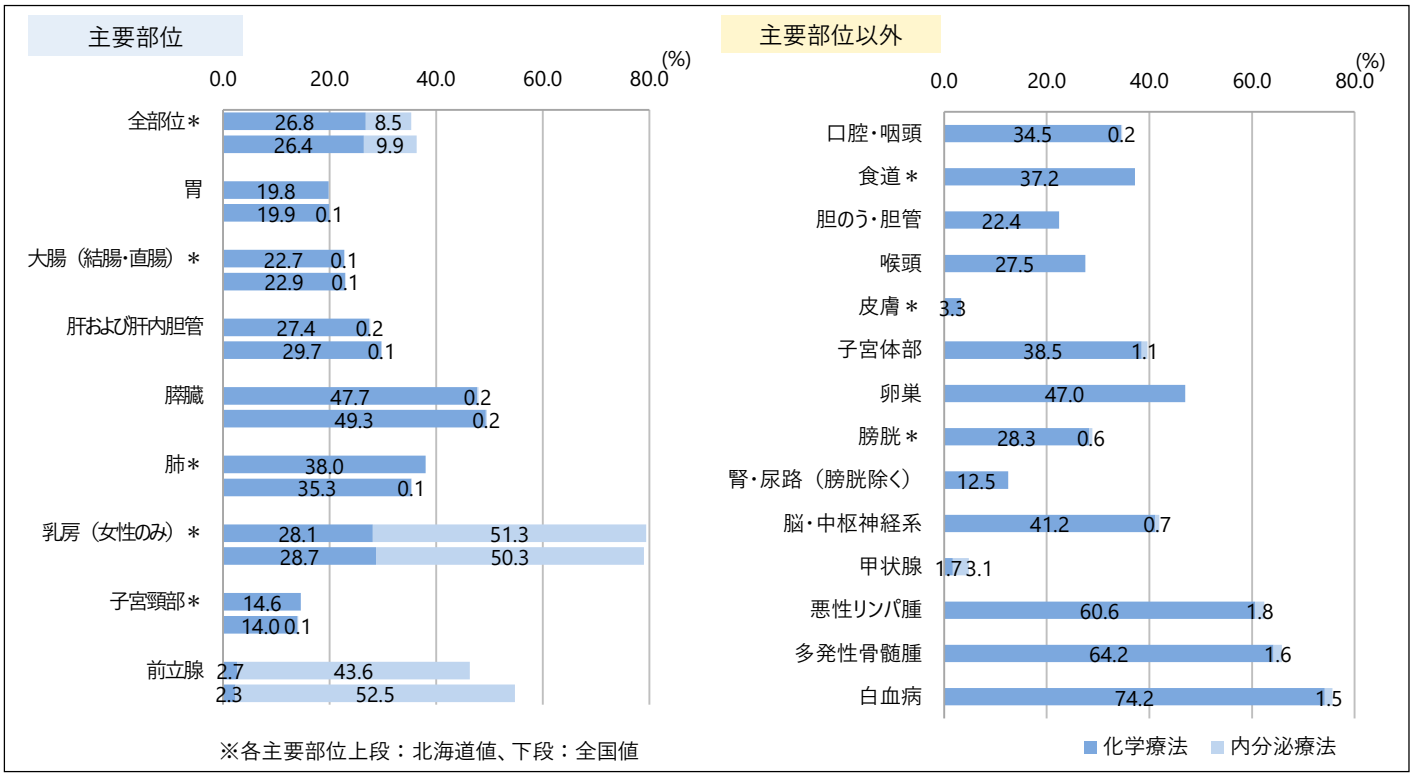


図 19　初回治療における薬物療法内訳（%）

【初回治療受療動向】

1）ＤＣＯを除く　２）上皮内がんを含む　3）観血的治療には、外科的、鏡視下、内視鏡的手術を含む
4）薬物療法には、化学療法、免疫療法、内分泌療法を含む　　５）*には地域がん連携指定病院と指定診療所を含む

初回治療における病院等種別内訳

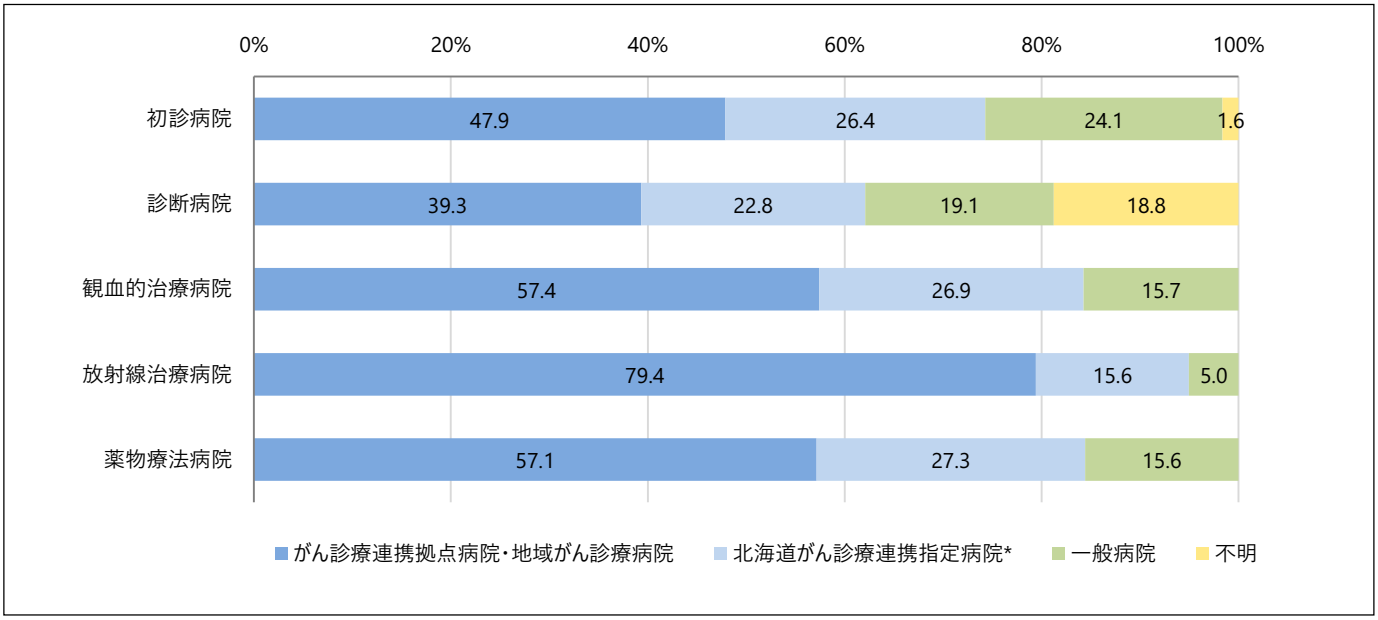


図 20　初回治療における病院等種別内訳（%）

5. 北海道のがんの死亡の概要

集計には「標準集計表 9、10、11-2」を用いた

【部位別死亡数・割合】

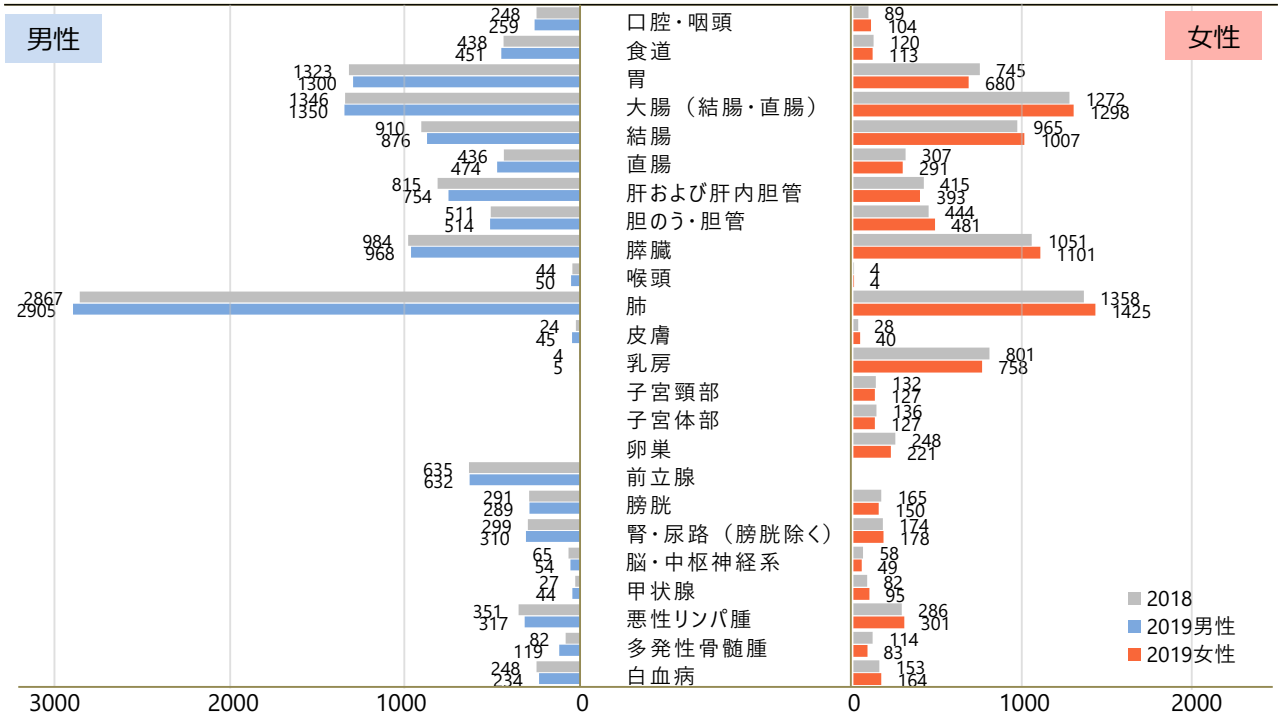


図 21　部位別死亡数：男女別

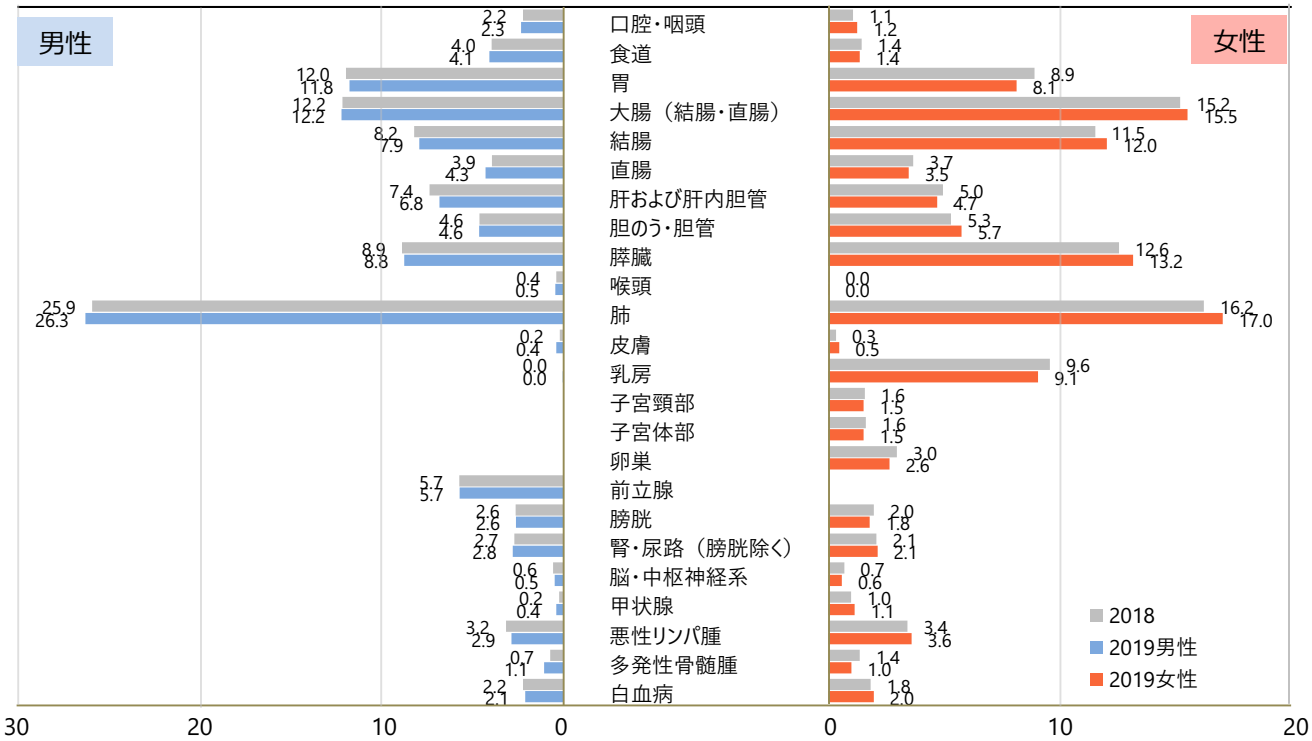


図 22　部位別死亡割合：男女別

死亡割合は男性・女性ともに肺がんが最も高い割合（男性 26.3%、女性 17.0%）となっており、次いで大腸がん（男性 12.2%、女性 15.5%）となっている。このほか男性では、胃がん（11.8%）が高く、女性では膵臓がん（13.2%）が高くなっている。

【年齢別に見たがんの死亡】

表 7　年齢階級別がん死亡数

年齢階層	14歳以下	15-39歳	40-64歳	65-74歳	75歳以上	総数
男性	8	33	1,185	2,983	6,847	11,056
女性	3	57	1,011	1,740	5,558	8,369

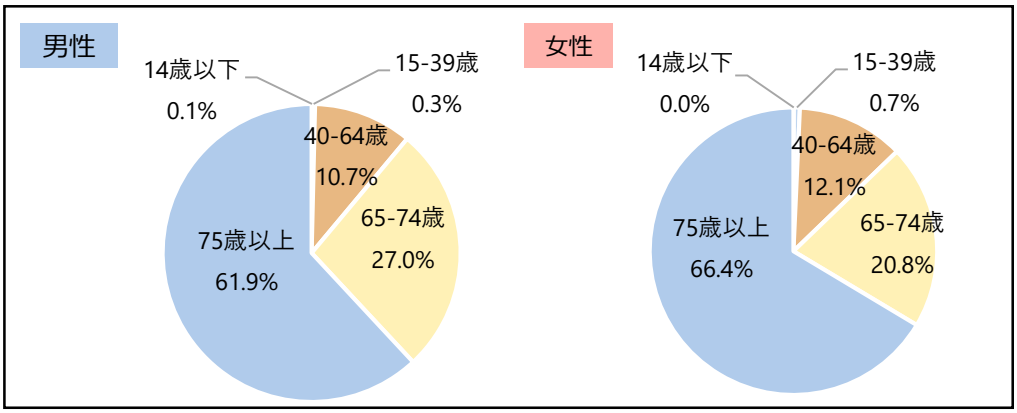


図 23　年齢階級別死亡割合（%）：男女別

男性女性ともに 75 歳以上（男性 61.9%、女性 66.4%）の割合が高くなっている。

表 8　年齢階級別がん死亡順位：男女別

性別		14歳以下	15-39歳	40-64歳	65-74歳	75歳以上
男性	第1位	脳・中枢神経系 悪性リンパ腫、白血病	白血病	肺	肺	肺
	第2位	－	肺	膵臓	胃	胃
	第3位	－	膵臓 脳・中枢神経系	胃	膵臓	結腸
女性	第1位	脳・中枢神経系	乳房	乳房	肺	肺
	第2位	－	白血病	肺	膵臓	膵臓
	第3位	－	子宮頸部	結腸	乳房	結腸

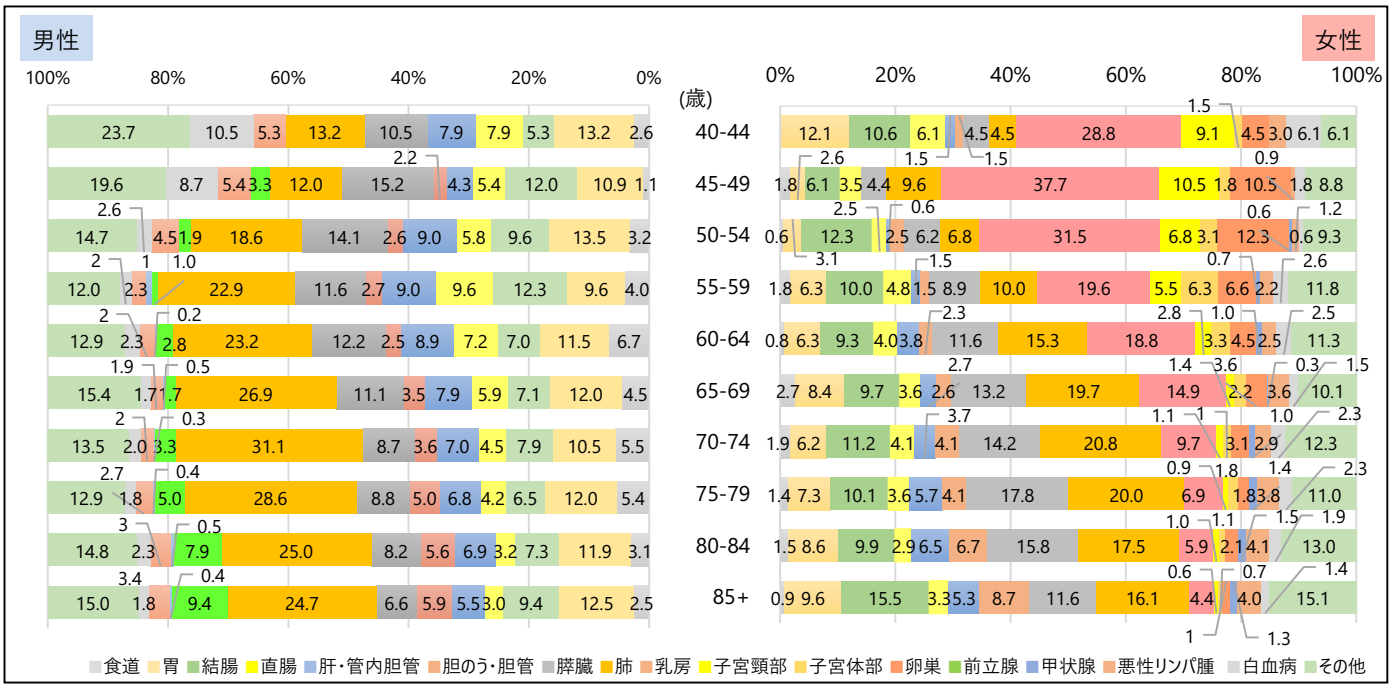


図 24　年齢階級別がん死亡割合：男女別

【部位別年齢階級別死亡率】

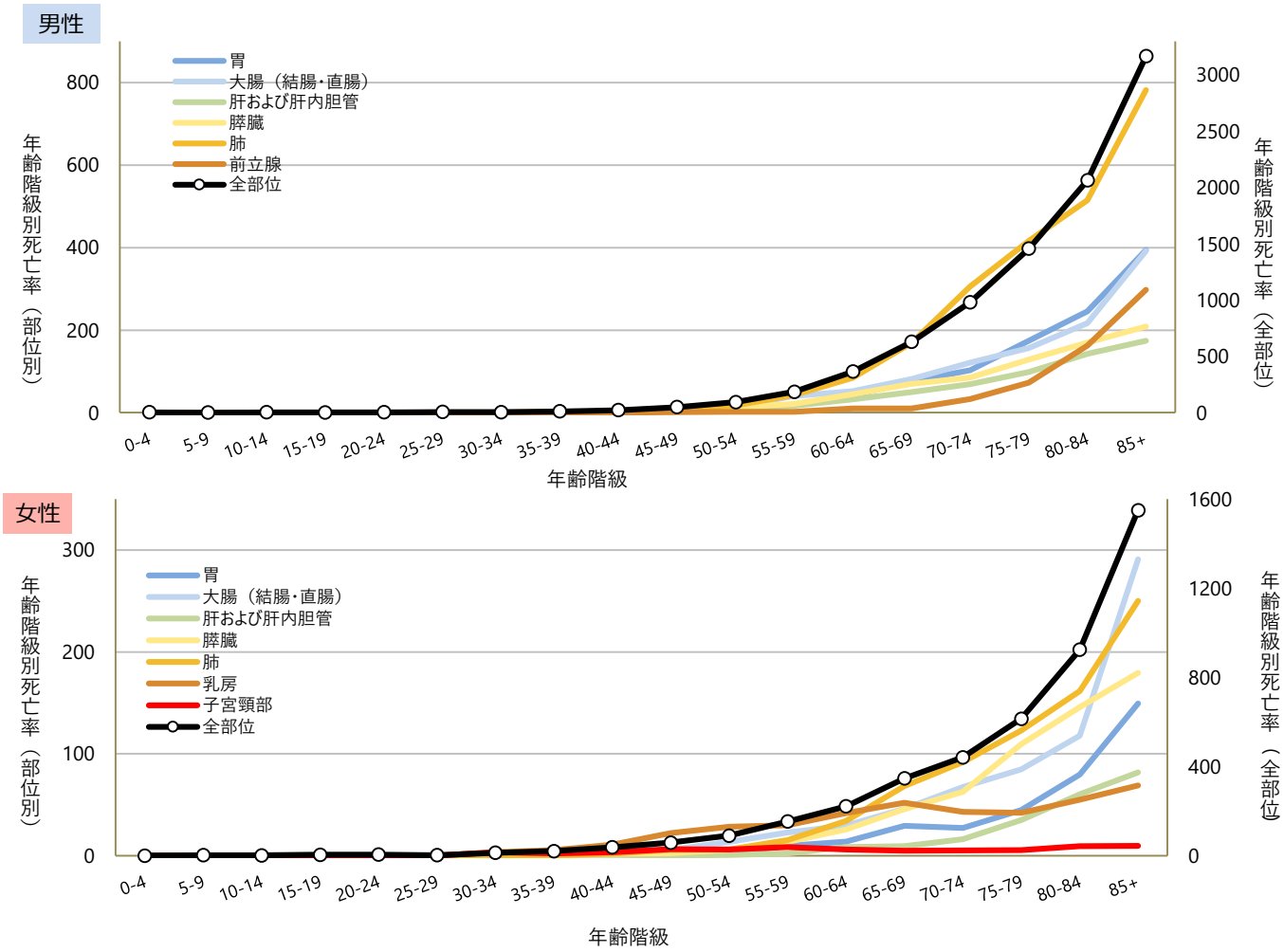


図 25　年齢階級別死亡率（人口１０万対）：男女別

1）上皮内がんを除く

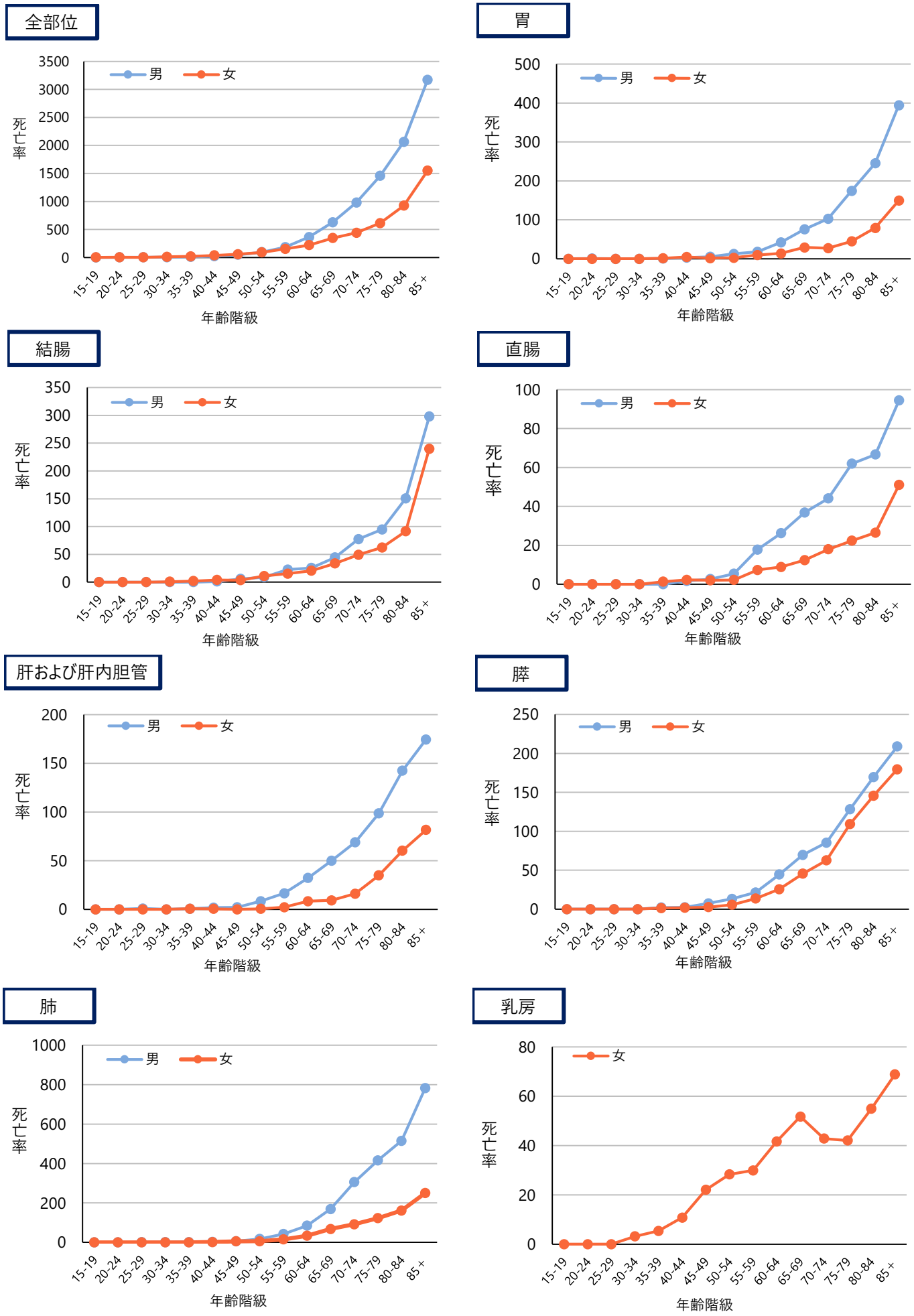


図 26　主要部位別年齢階級別死亡率（人口１０万対）

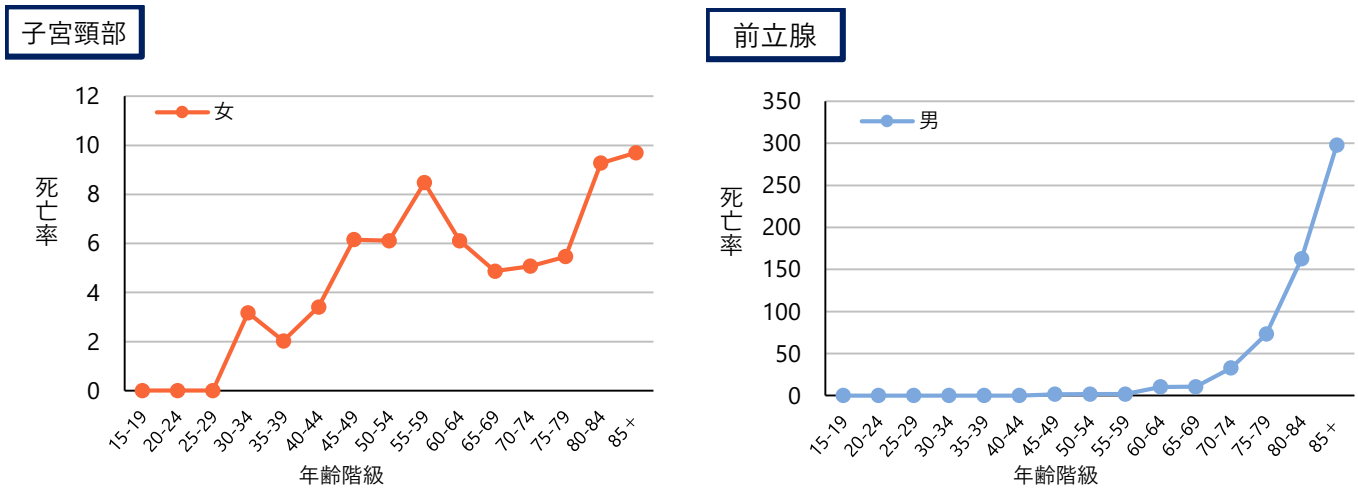


図 26　主要部位別年齢階級別死亡率（人口１０万対）